

「KSC」北小河内 セーフコミュニティたより

平成28年7月
KSC事務局
会長平出政敏

「区民が安全安心 笑顔の弾ける明るい地域」

お力添えをお願いします

会長 平出政敏

今年も早や七月を迎え、あつと言う間の六ヶ月が過ぎました。平成二十八年度の区行政も、皆様方の力強いご支援ご協力を頂く中で、四ヶ月が過ぎましたが、

した活動を推進させて頂いております。

区方針に沿った諸活動を、何とか進めることが出来ているのも、偏に皆様方のお力添えあつてのことと、心から深く感謝申しあげます。そんな活動の一端に、町内十五区の中でも最も高い評価を頂いております。「安全安心の地域づくり、KSC（北小河内セーフコミュニティ）」活動があります。町のセーフコミュニティ活動に即応し、発足以来七年目を迎え、益々充実

そんな中、今年一月に区民の一人が、横断歩道上で交通事故死と言う痛ましい事故が発生してしまいました。現在、二度とこの様な事のない様、KSCを中心にして、関係機関に請願・陳情・要望をし、対策に取り組んでおります。過日は、事故現場の横断歩道に押しボタ

ン式信号機の設置の署名に七百二十二名のご協力をいただき、町へ要望書を提出し、県にまで要望していただきます。ご協力誠に有難うございました。また、事故現場に交通啓発の一環として道路のカラー化も実現でき、所々ではありますが、皆様のお力により、交通安全対策が現実出来ております。今後も、区が目指す「区民が安全安心、笑顔の弾ける明るい地域づくり」の為に申し上げます。



7月5日 「押ボタン信号機」設置の要望

信号機設置に向けて 横断歩道需要調査

六月十六日七時から十九時の十二時間の横断歩道の需要調査を行ない、「横断者数、年代、車の止まり具合」について調査しました。調査員は、KSCから二名、地元漆戸常会から常会長・ボランティアの各二名の計四名。役場から三名。安協一名で実施しました。関係者が特に驚いたのは「旗を出しても止まらない車が多い」事です。他利用者は八



提出時、町議・安協会長
建設課長・SC事務局長

十一名でした。以上を踏まえ区長・町議・町の安協会長、そして町長・SC・建設課長、に要望書を提出し、待合場所の確保。更には信号機設置に向けて県議へと活動を展開していきます。尚、漆戸常会の方々のご協力に感謝いたします。
(事務局)

企画班が新設 大きな目標です

丸山 巖

本年度から、KSCに企画班が出来ました。目的は、各年代のメンバーが集まって、若い世代がKSCに関心を持つこと。更に、これから先三十年後を見据えて北小河内が、笑顔あふれるのを目標に、意見要望を出します。出された内容を、実行するために各組織や、地域へ働き掛けて、皆さんで取り組んでいければと思います。皆様の、意見要望もお待ちしております。宜しくお願いいたします。

感震ブレーカー設置

第一回申し込み者配布

生活環境班

丸山澄雄

感震ブレーカーの第一回の希望者申し込みが終了し、今月十六日には、各常会長さんに手渡しました。大変恐

縮ですが代金は現品引き換えでお願いしています。感震ブレーカーは、屋外送電線等のトラブルで停電



感震ブレーカー 取り付け

となり、電源再投入の時に使用していた電気器具が家財等の倒れによりショール・発熱等で火災となることを防ぐ器具です。関西大震災・東北大震災でも全家庭で感震ブレーカーを取り

付けていたのなら火災は十分の一にまで減らされていた。との研究結果が纏められています。地震は必ず来ます。防災の考えは、来ないと分らない。全体で対応しないと効果が半減する。難しい問題です。第二回目の取り纏めも行なう予定です。今回45戸の家で取り付けられます。KSCでは、千円の補助をして取り組んでいます。

私六十七歳が小学生のころ無かったもの、テレビ・電話・洗濯機・蛍光灯・トイレットペーパー・水道・耕運機。有った物、食卓を飛ばす金バエ・寝床の蚤・腹の回虫・青鼻水の子供・雨漏れの屋根・砂利の県道・水路に在るドジョウ・蛍・ゴムの草履、短靴・自宅での冠婚葬祭・国民年金で小金持ちになった高齢者・アツ！鯨の刺身とフライ。失ったもの、向こう3軒両隣・世話好きの仲人。今欲しい人に迷惑を掛けない心。『安心に（命のカプセル）・安全に（感震ブレーカー）』今活動しています。

転倒事故減少

家庭安全班の活動状況

小笠原義尚

家庭安全班では、例年の活動を継続すると共に地域の見守りを強化すべく取り組みんでいます。結果皆さんの健康志向も高まりもあり転倒事故件数は過去30件近くあったのが7件（アンケート集計）と減少しています。事故事例・安全安心の知恵袋・健康チェックや体操の実施等で啓蒙を行ないます。家庭内の対策は、個人の考えに委ねる事になりますが、歩道や凍結の改善は区に強く要望しています。北小河内地区の保育園児・小学生共に特に問題な

防災・減災対策

自主防災班

鈴木健二

四月の総会・ワークショップ以来、班活動は行っていませんが、班の目標の一つでもあり、主要メンバーが属している自主防災会で「向こう三軒両隣支え合い運動」のデータ更新に取り

く有り難い事です。未就園対象のひよこの会の活動に感謝しております。地域での見守り・絆作りのため常会単位でのサロンが宮下と漆戸で発足しました。他の地域でも広がって行く事を期待します。ボランティアの皆様本当に感謝です。



組んでいます。今後の活動としては、七月下旬から八月上旬を目安に班の年度中間会議を開き、八月下旬の防災訓練に向けた意見交換を行い、防災・減災態勢をチェックします。引き続き、区民の皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。